## 「障がい」と表記する、その想いを伝えることが大切!

昨年授業で出会った学生から、次のようなメール。

【 先日、実習の打ち合わせに行ってきました。

打ち合わせの前に履歴書?のような自己紹介カードを提出していたのですが、興味のある進路として障がいを持った子どもと関わりたいと書きました。

すると、実習先の先生から、「障がいの『がい』ぐらい漢字で書くことができないのか」 と注意されてしまいました。

私は障がいは「害」ではないと思っているので、ずっと平仮名で書いていました。 しかし、やはり何かのときには「障害」と書かなくてはいけないのかという悲しみと、 先生にそのように言われたことがずっと心に残っています。

そんなに気にすることではないのかもしれないのですが、表現の仕方で大切な子どもや 親を傷つけてしまうということも学んできた為、私としては正直「害」と漢字では書きた くありません。

1 人で考えると頭が混乱してくるので、阿部先生に何かアドバイスをいただけたらと思いました。 】

「障がい」を「漢字を知らないのか」と誤解する職員が今時福祉現場にいることに唖然とするが、次のように返信した。

【 こうした時は、しっかりと自分はなぜ「障がい」と書いたかを遠慮せずに先生に伝えないとね。

使う言葉の意味も説明できないと、「障がい」と意識して書いているあなたの想いが相 手に伝わらないですよね。

参考までに、漢和辞典を見ると、「障」、「害」、「碍」のいずれの字義にも同じような説明が見られます。

ですから、「これが適切!」と自分で納得できるものが未だないので、今のところ一般 的な「障害」を使っています。

あなたがあなたの想いで、「障がい」と表記することは何ら問題ないですし、それより も、あなたの想いを伝えることの方が意味があるように思います。 】

早速、学生から次のような返信があった。

【 ありがとうございます。何だかすっきりしました。きっと阿部先生に言わなければ、 ずっとモヤモヤが消えなかったと思います。

やはり自分の考えだけではなく、いろんな人の話を聞けることはとても勉強になります。 また、阿部先生が授業で教えてくれたように、きちんと自分の考えを伝え、解ってもら えるようコミュニケーションを図っていくことも、とても大切なんですね。改めて考えさ せられました。ありがとうございました(\*´▽`\*)】